

沖縄県で

麻しん(はしか) 流行中!!



熱、鼻水、咳、のどの痛み、
目の充血、発疹(ぶつぶつ)

がある方は下記のとおり行動して下さい。



病院・クリニック・薬局への移動中や待合室などで、
他の人に感染が広がらないように ご理解ご協
力をお願いします



受診前に、病院・クリニックへ連絡

病院・クリニックの指示に従って受診しましょう

病院名:

TEL:



診察前・後、支払い、薬の受け取りは医療
機関所定の場所で待機

病院・クリニック・薬局の指示に従って待機しましょう



麻疹患者さんと濃厚接触した方へ

現在沖縄県内で麻疹（はしか）が流行しており、麻疹を発症した方からの聞き取りに基づき、麻疹を発症した方と濃厚接触された方にこの文書を配布しております。麻疹は非常に感染力が強く、免疫を持っていない方が濃厚接触すると今後麻疹を発症する可能性があります。

これまで麻疹ワクチン（麻疹風しんワクチンを含む）2回接種を実施している（母子健康手帳などで接種歴が確認出来ることが望ましい）、もしくはこれまで麻疹にかかり医療機関で医師から麻疹の診断を受けた場合にはすでに免疫を持っていることが高く、濃厚接触しても発症する可能性はほとんどありません。しかし、これまで麻疹ワクチンは1回しか接種していない、もしくは1回も接種したことが無い、麻疹にかかったことが無い場合には免疫力をお持ちでない可能性が高く、今後潜伏期間を経て麻疹を発症する可能性があります。

患者との接触から3日以内に麻疹含有ワクチンを接種する、もしくは患者との接触から既に3日を過ぎており、4日以上6日以内であれば免疫グロブリン製剤の注射を行うことで発症を予防出来る可能性があり、対象となる方はかかりつけ医にご相談下さい。

麻疹の潜伏期間は5日からおおむね14日以内（最長3週間）のため、麻疹への免疫をお持ちでない方は潜伏期間中に麻疹を発症しないか健康観察を行って頂く必要があります。健康観察とは、以下のことをご自身で確認して頂くことです。

37.5度以上の発熱はないか

咳、鼻水、咽頭痛（のどが痛い）、倦怠感、

目の充血、発疹がないか（注意：発症初期は発疹が無い場合も多いです）

もし、このような症状が現れた場合には、必ず事前に医療機関に「麻疹発症者との接触歴があり、麻疹かもしれない」ことを連絡の上、医療機関の指示に従い受診して頂きますようお願い致します。

麻疹を発症したにも関わらず、医療機関を受診せず放置すると、周囲の方々に感染を広めてしまうこととなります。流行がさらに拡大してしまうと、特に抵抗力の弱く重くなりやすい乳幼児が犠牲になることが懸念されます。麻疹拡大防止について、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

2018年4月6日（金）

沖縄県南部保健所 健康推進班

担当：豊川、木村

電話：098-889-6591